

キャラクター名 ファイブ	プレイヤー名
-----------------	--------

シンドローム	キュマイラ	ワークス	レネゲイドビーイングA	カヴァー	UGNエージェント
	キュマイラ		年齢	見た目26歳	性別
オプション					
覚醒	忘却	衝動	解放	初期侵食率	40%
出自	転生体	経験	過酷な環境	邂逅	夢の中

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	37
肉体	6	1	1			8	行動値	3
感覚	0	0	1			1	(非装備時)	3
精神	0	0	1			1	戦闘移動	8
社会	2	0	0			2	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	9		射撃	1		RC			交渉		
回避	1		知覚			意志	1	1	調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
	白兵	8r+9	0	23		素手攻撃力-5
	白兵	8r+9	0	32		飛礫攻撃力4
80	白兵	8r+9	0	48		素手-5
	白兵	8r+9	0	57		飛礫攻撃力4

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
コネ: UGN		ロイス			
コネ: 情報屋		対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス消費
思い出の一品		屍人	P	N	
		てんごくくん	P 友情	N 罪悪感	
		夢の中の自分	P 親近感	N 恐怖	
		神城早月	P 好奇心	N 猜疑心	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
		最大財産P:	4	残り財産P:	0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ヒューマンズネイバー	1	基+5	常時	至近	自身	自動	RB	
効果: EA134、衝動判定ダイス+Lv								
オリジン:ヒューマン	1	2	マイナー	至近	自身	自動	RB	
効果: EA134、そのシーンの間エフェクト使用判定のあらゆる達成値+Lv								
コンセントレイト:キュマイラ	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: C値-Lv(下限7)								
獣の力	7	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: EA58、白兵の攻撃力+ [Lv×2] する								
獣王の力	1	3	メジャー	武器	-	対決	リミット	
効果: BC60、獣の力と使用。効果を [Lv×4] に変更。								
飛礫	2	2	メジャー	20m	単体	対決	-	
効果: EA60、射程20m、攻撃力4、同エンゲージ不可								
増腕	1	2	メジャー	武器	範囲(選択)	対決	ピュア	
効果: EA62、対象を範囲(選択)にする。								
フルパワーアタック	5	4	セットアップ	至近	自身	自動	80	
効果: EA61、そのラウンド中の攻撃力+[Lv×5]、行動値が0になる。								
メモリー:レトリック	1							
効果: 感情:誠意								
獣の直感	1	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: EA63、天候や地震などを察知。								
鋭敏感覚	1	-	メジャー	-	-	自動	-	
効果: EA63、周囲の状況に敏感になる。広範囲を探索できる。								
効果:								
効果:								

一人称:おれ 二人称:君、お前
 口調:目上の人には敬語、同い年くらいの人には~だよ、~だね。~なの。とか優しい感じの言葉使い。
 性格:人間不信のお人好し。押しに弱く気も弱い。情緒が不安定でよくおかしくなる発作がでる。

「嫌な予感」というものをよく感じていた。
 何の皮でできているのかわからない古い本だとか、なんだか古い伝承のある村でやるお祭りだとか、顔のよすぎる知り合いだとか。
 怪異に対する無意識下の直感。第六感とでもいうのだろうか。
 そんな危険信号が告げていると、それに勝つ好奇心。探索せずにはいられないものだ。
 その好奇心は身を滅ぼし、俺はもう二度と正気には戻らないはずだった。

でも俺は再び目を覚ました。長い悪夢を見ていた感覚。いや、もしかするとその悪夢はいまだに続いているのかもしれない。
 そんなことを感じようと感じまいとお腹はすく。
 疑問は尽きないが、生きていくために今日も働かないといけなない。
 レジカウンター越しの男性は、なぜだかとてもイライラしている様子だ。ふと俺と目が合う。自然と見下す形になってしまう。

なんだか「嫌な予感」がした。

人間のレネゲイドビーイング。細かく分けると直感や第六感などの感覚。
 「ファイブ」という精神的に死んだ一人の人間の中にレネゲイドが宿り、それがその宿主の記憶を読み取り再現した。
 自分がなやらレネゲイドというものらしいことに気づいたが、どうしようもないのでバイトに行っている。
 やっぱりなんか事件に巻き込まれ、バイトもくびになって絶望していたところ小佐古支部の支部長、半田半蔵に話を聞いてもらいそのまま小佐古へ。